

ANTI-TERRA-210

版番号 1.0

1 / 8

作成改訂日: 2015/12/16

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ANTI-TERRA-210

用途 : 分離防止剤

供給者情報

供給者の会社名称 : ビックケミー・ジャパン株式会社
住所 : 東京都新宿区市谷本村町3-29

電話番号 : 03-6457-5501

FAX番号 : 03-6457-5502

電子メールアドレス : info.byk.japan@altana.com

緊急連絡電話番号 : 03-6457-5501

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

GHS分類基準に該当しない。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非常事態の概要 : 情報無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 顔料親和性基を有するコポリマーの溶液

危険有害成分

本製品は、日本の法令で定められている化学物質、あるいは GHS に準拠して分類されるカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

4. 応急措置

一般的アドバイス : 被災者を一人にしない。

吸入した場合 : 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

眼に入った場合 : コンタクトレンズをはずす。

損傷していない眼を保護する。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

飲み込んだ場合 : 気道を確保する。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

5. 火災時の措置

特有の危険有害性 : Handle as an industrial chemical.
Will not explode on mechanical impact.
火災時は水を噴霧して密閉容器を冷却すること。
炭素酸化物
窒素酸化物 (NOx)

有害燃焼副産物 : 炭素酸化物
窒素酸化物 (NOx)

特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 吸収材 (例: 布、フリース) で拭き取る。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 : 個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。

衛生対策 : 作業上の一般的な注意事項を守る。

保管

安全な保管条件 : 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

混触禁止物質 : 特に言及すべき物質は無し。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

ANTI-TERRA-210

版番号 1.0

3 / 8

作成改訂日: 2015/12/16

保護具

| | |
|-------------|-------------------|
| 呼吸用保護具 | : 通常、呼吸用保護具は必要ない。 |
| 手の保護具 備考 | : 適切な手袋を着用すること。 |
| 眼の保護具 | : 安全眼鏡 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 保護服 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|----------------|--------------------------------------|
| 外観 | : 液体 |
| 色 | : 淡黄色 |
| 臭い | : 特性 |
| 臭いのしきい(閾)値 | : データなし |
| pH | : 約 8.5, |
| 凝固点 | : 約 0 ° C |
| 初留点 | : 約 100 ° C |
| 引火点 | : 火花無し |
| 蒸発速度 | : データなし |
| 爆発範囲の上限 | : データなし |
| 爆発範囲の下限 | : データなし |
| 蒸気圧 | : 約 23 hPa (20 ° C) 水に類似の |
| 蒸気密度 | : データなし |
| 比重(密度) | : データなし |
| 密度 | : 約 1.106 g/cm ³ (20 ° C) |
| かさ密度 | : 非該当 |
| 溶解度 | |
| 水溶性 | : 完全に混和性である |
| 溶媒に対する溶解性 | : データなし |
| n-オクタノール／水分配係数 | : データなし |
| 自然発火温度 | : 約 > 200 ° C |
| 熱分解 | : データなし |
| 粘度(粘性率) | |

ANTI-TERRA-210

版番号 1.0

4 / 8

作成改訂日: 2015/12/16

粘度 : 約 140 mPa.s

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 指示通りに保管または塗布した場合は、分解することはありません。
- 化学的安定性 : 指示通りに保管または塗布した場合は、分解することはありません。
- 危険有害反応可能性 : 推奨保管条件下では安定。
特に言及すべき危害要因はない。
- 避けるべき条件 : データなし
- 危険有害な分解生成物 : 炭素酸化物
窒素酸化物 (NOx)

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性経口毒性 : 備考: データなし

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

製品:

備考: データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

製品:

備考: データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

備考: データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

ANTI-TERRA-210

版番号 1.0

5 / 8

作成改訂日: 2015/12/16

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

データなし

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

データなし

反復投与毒性

製品:

備考: データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

詳細情報

製品:

備考: データなし

備考: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : 備考: データなし

ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 : 備考: データなし

残留性・分解性

製品:

生分解性 : 備考: データなし

データなし

生体蓄積性

製品:

生体蓄積性 : 備考: データなし

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし

土壌中の移動性

ANTI-TERRA-210

版番号 1.0

6 / 8

作成改訂日: 2015/12/16

データなし

他の有害影響

製品:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質/混合物は0.1%以上の濃度で難分解性で高蓄積性および毒性を有する物質 (PBT) または極めて難分解性、高い生体蓄積性を有する物質 (vPvB) と懸念される物質を含有しておりません。

生態系に関する追加情報 : データなし

オゾン層への有害性

非該当

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA-DGR

危険物として規制されていない

IMDG-Code

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には不適用。

国内規制

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

特別の安全対策

非該当

15. 適用法令

関連法規

消防法

非該当

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

非該当

航空法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

海洋汚染物質には該当しない

高圧ガス保安法

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報に基づき、当該製品の取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理などを安全に行って頂くために作成されました。記載されている情報はいかなる保証をするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、本SDSのデータはここで指定された物質についてのみ有効で、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。